

庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会 における公表資料

平成30年2月

庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会

1. 庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会の概要	P2
2. 地下空間ワーキンググループの概要	P3
3. 平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))の概要	P4
4. 平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))	P8
5. 平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))の効果	P10
6. 平成29年度庄内川決壊対応タイムライン検討案	P12
7. 庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会における今後の課題と対応策	P14

庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会の概要

- ・ 台風等による風水害に備えた防災行動計画を検討することを目的として庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会を平成26年6月に設置した。
- ・ 6回の検討会を経て、平成26年度庄内川決壊対応タイムライン検討案(年超過確率1/200降雨)を平成27年3月26日に公表した。

【検討対象範囲】庄内川流域の名古屋駅周辺



庄内川の堤防が決壊した場合の想定最大浸水深



構成員

座長: 松尾 一郎氏(東京大学大学院客員教授)
アドバイザー: 関 克己氏(京都大学客員教授)
市澤 成介氏(元気象庁予報課長)
山崎 登氏(NHK解説主幹)
構成員: 庄内川河川事務所、名古屋地方気象台、愛知県、愛知県警察、名古屋市、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防火・防災管理協議会
オブザーバー: 中部運輸局、中部地方整備局

開催状況

平成26年6月4日
「庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会」を設置

第2回～第6回検討会

平成26年度庄内川決壊対応タイムライン検討案を公表(H27.3)

平成27年 6月 1日「第7回 検討会」 より効果的な運用のために
平成28年 7月14日「第8回 検討会」 検討を継続

地下空間ワーキンググループの概要

- 台風等による風水害に備えた防災行動計画を検討することを目的とし、庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会を平成26年6月に設置。
- 名古屋駅周辺地下空間の浸水による人的被害、施設被害等を軽減するための防災行動を、より実践的なものとするため、平成27年10月に検討会の下に、『地下空間ワーキンググループ』を設置し、地下街等管理者と行政機関が連携しながら検討を開始。
- 第9回地下空間ワーキンググループにおいて、平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))をとりまとめた。

地下空間WG 構成員

<座長>

松尾 一郎氏(東京大学大学院客員教授)

<アドバイザー>

関 克己氏(京都大学客員教授)

<構成員>

(行政機関)

庄内川河川事務所、名古屋地方気象台、愛知県警察、名古屋市

(民間企業等)

名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防火・防災管理協議会、(株)エスカ、(株)近鉄百貨店名古屋店、ジェイアールセントラルビル(株)、東和不動産(株)、(株)名古屋交通開発機構、名古屋建物管理(株)、名古屋地下街(株)、名古屋ビルディング(株)、三井不動産ビルマネジメント(株)、三菱地所(株)、名鉄ビルディング管理(株)、(株)名鉄百貨店、(株)ユニモール

検討対象エリア

庄内川洪水浸水想定区域(計画規模)



出典: 庄内川河川事務所 (H28.10)

名古屋駅地区地下街



出典: 名古屋駅地区街づくり協議会 (H24.4)

平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))の概要①

- 本タイムラインは、施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水はいずれ発生するものとの認識の下、年超過確率1/200の降雨に伴って庄内川が氾濫することにより発生する名古屋駅地区の地下街における浸水による人的被害、施設被害等を軽減するため、台風の接近に伴い名古屋駅地区の地下街等管理者が行うべき防災行動を時系列にまとめたもの。
- 共通行動項目としては、浸水防止対策、早期退出の促進、営業に係わる判断、地下街等管理者(テナント含む)の完全退避から構成されており、気象・河川情報や名古屋市が地下街等管理者に提供する情報を踏まえて実施。
- 台風に関する愛知県気象情報を踏まえ、東海豪雨を超える降雨が予測される場合は、翌日営業中止の検討を開始するなど、万が一に備えた早目の判断を行うものとした。

<平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))3つのポイント>

①4つの共通行動項目

1 浸水防止対策

→河川氾濫の前に想定される内水氾濫に備え、地下街等の入口に止水板や土のうを設置。

2 早期退出の促進

→館内アナウンス等を活用し、来街者の地下空間からの早期退出を促進。

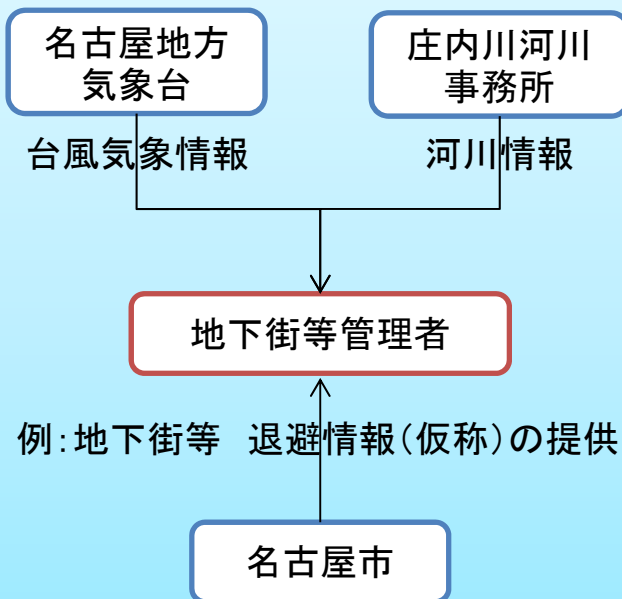
3 営業に係わる判断

→営業の継続について検討・判断。営業停止後には地下通路の閉鎖も実施。

4 地下街等管理者の完全退避

→営業停止後、最終的に地下街等管理者(テナント含む)が地下空間から完全退避。

②情報共有による関係者間の連携



③早目の判断

台風気象情報

翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測された場合

地下街等管理者

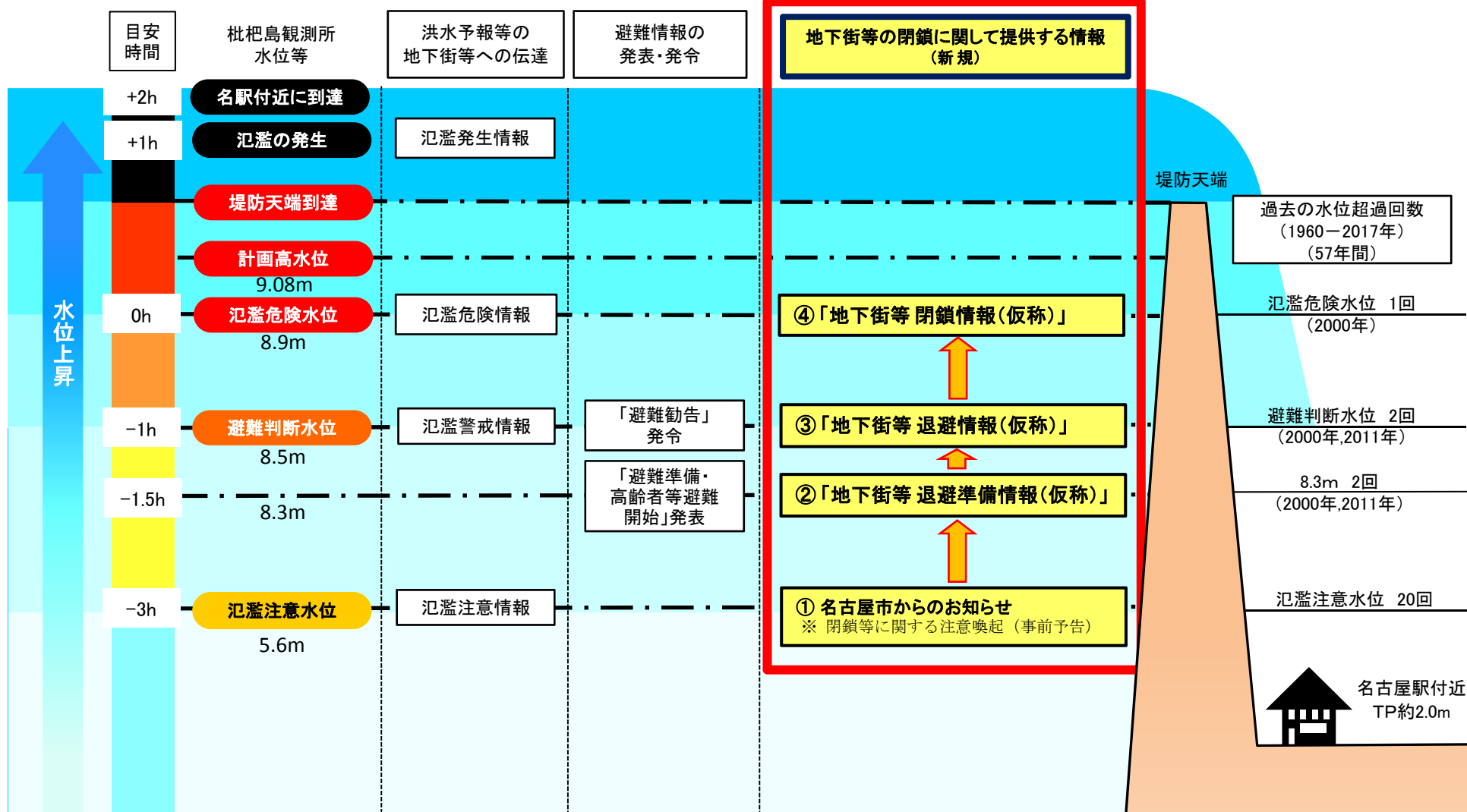
・翌日営業中止の検討開始

※これ以降、台風気象情報、河川情報、名古屋市から提供される情報を踏まえ、地下街等管理者の完全退避まで実施

平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))の概要②

地下街等への新たな情報提供について(案)

名古屋市の対応



※ 名古屋市の避難情報は、上記の水位に到達し、かつ、その後の雨量、河川水位上昇等の予測を総合的に判断し、必要と認めた場合に発表、発令する。
 ※ 水位については、枇杷島観測所の水位計の水位を表記しており、0.1mを加えるとTPIになる。

平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))の概要③

- 翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測(600mm/24h以上)されないかどうかによってシナリオを2つに分類(シナリオ1とシナリオ2)
- 『早い段階で名古屋圏域において東海豪雨を超える降雨が予測された場合(シナリオ1)』と『それ以外の場合(シナリオ2)』に分類し、タイムラインを2つに分岐する。

<タイムラインステージ1>

台風進路予想で名古屋市が予報円内に含まれる場合 または 台風に関する愛知県気象情報で名古屋周辺への影響が予測される場合



<分岐条件>

翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測(600mm/24h以上)される※台風〇号に関する愛知県気象情報による

YES

<シナリオ1>

<タイムラインステージ2>

- 前日時点で翌日の営業中止を検討

<ステージ3以降>

名古屋市が新たに提供していく情報に基づいて、防災行動を進める

- 地下通路の閉鎖準備の開始等

NO

<シナリオ2>

<タイムラインステージ2>

- 気象情報の把握(営業停止については、以後の気象や水位状況により判断)

<タイムラインステージ2'> 愛知県西部に大雨警報

- 早期退出を促す取り組み(館内アナウンス等)

<ステージ3以降>

名古屋市が新たに提供していく情報に基づいて、防災行動を進める

- 営業停止の最終判断等

平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))(シナリオ1 早い段階で名古屋圏域において東海豪雨を超える降雨が予測された場合)

想定シナリオ(参考)				各地下街等管理者の防災行動				
目安時間	想定される状況	発表・発令が想定される情報	名古屋市が地下街等管理者に提供する情報	情報関連	浸水防止対策	早期退出の促進	営業に係わる判断	地下街等管理者(テナント含む)の完全退避
~-120H	台風が発生	【気象庁】台風に関する全般気象情報 【気象庁】台風5日進路予報						
~-72H	台風による日本への影響の可能性	【気象庁】台風に関する全般気象情報 【気象庁】台風5日進路予報 【気象庁】暴風域に入る確率						
ステージ1: 台風進路予想で名古屋市が予報円内に含まれる場合 または 台風に関する愛知県気象情報で名古屋周辺への影響が予測される場合								
~-48H	台風による名古屋への影響の可能性	【気象台】台風に関する東海地方気象情報 【気象台】台風に関する愛知県気象情報 【気象台】愛知県西部の警報級の可能性 【気象台】台風説明会の開催通知		情報収集 (台風情報/※気象情報) 規模等>				
ステージ2: 翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測(600mm/24h以上を目安)された場合※台風〇号に関する愛知県気象情報による								
~-24H	台風の名古屋への接近と降雨の開始	【気象台】台風に関する東海地方気象情報 【気象台】台風に関する愛知県気象情報(バーチャート含む) 大雨注意報、洪水注意報		情報収集 (台風情報/※気象情報)			★ 翌日営業中止の検討 ※台風に関する愛知県気象情報が更新された場合は、その情報で最終判断とする。地下通路はこの時点では閉鎖しない。	
~-13H	台風の名古屋への更なる接近と、降雨の継続	【気象台】台風に関する愛知県気象情報 【気象台】名古屋市への大雨警報(バーチャート) 大雨警報(浸水害)、洪水警報		情報収集 (台風情報/※気象情報)		★ 早期退出を促す取り組み(館内アナウンス等)の開始		
~-9H	台風暴風域の名古屋への接近と、降雨の継続	【気象台】名古屋市への暴風警報(バーチャート)		情報収集 (台風情報/※気象情報)				
~-7H	台風暴風域の名古屋への更なる接近と、大雨の開始	【気象台】台風に関する愛知県気象情報						
~-5H	名古屋駅周辺での内水氾濫の発生	【街づくり協議会】冠水警報メーリングリスト		冠水警報メーリングリスト (街づくり協議会)	浸水防止対策の完了			
~-4H	庄内川で水防団待機水位に到達 ※1960-2015年で53回							
ステージ3: 庄内川の枇杷島水位観測所において氾濫注意水位に到達し、さらに水位上昇することが予測される場合								
~-3H	庄内川で氾濫注意水位に到達(5.6m) ※1960-2015年で20回 名古屋市が暴風圏に入る	【国交省】庄内川氾濫注意情報 【国交省】庄内川水防警報(準備)	地下街等に対して、閉鎖等に関する注意喚起(事前予告)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)			★ 地下通路の閉鎖準備の開始	
~-2H		【気象台】大雨特別警報(浸水害)						
~-1.5H	庄内川で8.3m(名古屋市独自基準)に到達	【名古屋市】避難準備・高齢者等避難開始	地下街等 退避準備情報(仮称)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)		★ 地下通路閉鎖に向けた地下通路利用者退出の誘導等開始		
ステージ4: 庄内川の枇杷島水位観測所において避難判断水位に到達し、さらに水位上昇することが予測される場合								
~-1H	庄内川で避難判断水位に到達 ※1960-2015年で2回	【国交省】庄内川氾濫警戒情報 【国交省】庄内川水防警報(出動) 【名古屋市】避難勧告等の発令	地下街等 退避情報(仮称)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)		★ 地下通路利用者の退出が完了したことを確認	★ 地下通路閉鎖の開始	★ 完全退避の開始
ステージ5: 庄内川の枇杷島水位観測所において氾濫危険水位に到達し、さらに水位上昇することが予測される場合または庄内川左岸で堤防決壊した場合								
0H	庄内川で氾濫危険水位に到達 ※1960-2015年で1回 庄内川で堤防決壊	【国交省】庄内川氾濫危険情報 【国交省】庄内川水防警報(情報)	地下街等 閉鎖情報(仮称)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)			★ 地下施設閉鎖が完了したことを確認	★ 完全退避が完了したことを確認
~+1H								
~+2H	名古屋駅に氾濫水が到達							

★ 各管理者の共通行動項目

※気象情報: 解析雨量・降水短時間予報、高解像度降水ナウキャスト、大雨警報(浸水害)の危険度分布、洪水警報の危険度分布

平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))(シナリオ2 シナリオ1以外)

想定シナリオ(参考)				各地下街等管理者の防災行動				
目安時間	想定される状況	発表・発令が想定される情報	名古屋市が地下街等管理者に提供する情報	情報関連	浸水防止対策	早期退出の促進	営業に係わる判断	地下街等管理者(テナント含む)の完全退避
~-120H	台風が発生	【気象庁】台風に関する全般気象情報 【気象庁】台風5日進路予報						
~-72H	台風による日本への影響の可能性	【気象庁】台風に関する全般気象情報 【気象庁】台風5日進路予報 【気象庁】暴風域に入る確率						
ステージ1: 台風進路予想で名古屋市が予報円内に含まれる場合 または 台風に関する愛知県気象情報で名古屋周辺への影響が予測される場合								
~-48H	台風による名古屋への影響の可能性	【気象台】台風に関する東海地方気象情報 【気象台】台風に関する愛知県気象情報 【気象台】愛知県西部の警報級の可能性 【気象台】台風説明会の開催通知		情報収集 (台風情報<進路・台風の規模等>)				
ステージ2: 翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測(600mm/24h以上を目安)されない場合※台風〇号に関する愛知県気象情報による								
~-24H	台風の名古屋への接近と降雨の開始	【気象台】台風に関する東海地方気象情報 【気象台】台風に関する愛知県気象情報(バーチャート含む) 大雨注意報、洪水注意報			シナリオ1からシナリオ2に移行			
ステージ2': 愛知県気象情報で愛知県西部に大雨警報(浸水害)が発表された場合								
~-13H	台風の名古屋への更なる接近と、降雨の継続	【気象台】台風に関する愛知県気象情報 【気象台】名古屋市への大雨警報(バーチャート) 大雨警報(浸水害)、洪水警報		情報収集 (台風情報/※気象情報)		★ 早期退出を促す取り組み(館内アナウンス等)の開始 例えば、大雨警報が発表された旨の館内アナウンスを実施するなど		
~-9H	台風暴風域の名古屋への接近と、降雨の継続	【気象台】名古屋市への暴風警報(バーチャート)						
~-7H	台風暴風域の名古屋への更なる接近と、大雨の開始	【気象台】台風に関する愛知県気象情報		情報収集 (台風情報/※気象情報)				
~-5H	名古屋駅周辺での内水氾濫の発生	【街づくり協議会】冠水警報メーリングリスト		冠水警報メーリングリスト (街づくり協議会)	浸水防止対策の完了			
~-4H	庄内川で水防団待機水位に到達 ※1960-2015年で53回							
ステージ3: 庄内川の枇杷島水位観測所において氾濫注意水位に到達し、さらに水位上昇することが予測される場合								
~-3H	庄内川で氾濫注意水位に到達(5.0m) ※1960-2015年で20回 名古屋市が暴風圏に入る	【国交省】庄内川氾濫注意情報 【国交省】庄内川水防警報(準備)	地下街等に対して、閉鎖等に関する注意喚起(事前予告)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)			★ 営業停止の最終判断 地下通路閉鎖準備の開始	
~-2H		【気象台】大雨特別警報(浸水害)						
~-1.5H	庄内川で8.3m(名古屋市独自基準)に到達	【名古屋市】避難準備・高齢者等避難開始	地下街等 退避準備情報(仮称)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)		★ 営業停止に伴う来街者への退出を促す取り組み(館内アナウンス等)の開始 地下通路閉鎖に伴う地下通路利用者への退出を促す取り組み(館内アナウンス等)の開始		
ステージ4: 庄内川の枇杷島水位観測所において避難判断水位に到達し、さらに水位上昇することが予測される場合								
~-1H	庄内川で避難判断水位に到達 ※1960-2015年で2回	【国交省】庄内川氾濫警戒情報 【国交省】庄内川水防警報(出動) 【名古屋市】避難勧告等の発令	地下街等 退避情報(仮称)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)		★ 来街者及び地下通路利用者の退出が完了したことを確認	★ 営業停止が完了したことを確認 地下通路閉鎖の開始	★ 完全退避の開始
ステージ5: 庄内川の枇杷島水位観測所において氾濫危険水位に到達し、さらに水位上昇することが予測される場合または庄内川左岸で堤防決壊した場合								
0H	庄内川で氾濫危険水位に到達 ※1960-2015年で1回 庄内川で堤防決壊	【国交省】庄内川氾濫危険情報 【国交省】庄内川水防警報(情報) 【国交省】庄内川氾濫発生情報	地下街等 閉鎖情報(仮称)の提供	情報収集 (水位情報/※気象情報)			★ 地下施設閉鎖が完了したことを確認	★ 完全退避が完了したことを確認
~+1H								
~+2H	名古屋駅に氾濫水が到達							

★ 各管理者の共通行動項目

※気象情報:解析雨量・降水短時間予報、高解像度降水ナウキャスト、大雨警報(浸水害)の危険度分布、洪水警報の危険度分布

平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン（共通行動版（案））の効果

台風の発生
(-120h)



台風の接近
(-48~-24h)



台風の直撃
(-24~-6h)



庄内川の水位上昇
(-6~0h)

庄内川の氾濫 (0h)

名古屋駅地区の浸水
(+2h)



Before
~タイムライン導入前~



タイムラインを活用した名駅地下街の一体的な防災行動の実施

After
~タイムライン導入後~



平成29年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案 (名古屋駅地区の浸水を想定)

- ◆ 本検討案は、年超過確率1/2000の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、名古屋駅周辺が約2m浸水する被災シナリオに基づき作成したものである。
- ◆ 本検討案は、検討途上であるため、主たる項目を記載したものであり、各機関が行う行動を網羅的に整理したものではない。
- ◆ 対応時間は、1つの想定台風シナリオに基づいて、名古屋最接近からの逆算したものであり、実際の台風速度、降雨パターンにより台風毎に変化する可能性がある。
- ◆ 本検討案は、現段階において地域防災計画などの既存の計画を補完するためのチェックリストとして活用するものであり、各機関の行動・タイムングを規定したものである。
- ◆ 本検討案は、降雨による水位上昇、堤防決壊を想定した時系列にて防災行動を整理したものであり、暴風により行動のタイムングは変化することがある。

何時(いつ)	目安となる 対応時間	防災行動項目	機関・組織・団体 (たれが)								
			庄内川河川事務所	名古屋地方気象台	名古屋市	愛知県	地下施設を 有する企業	住民・利用者			
平常時		日常の維持管理	◎			◎					
台風が発生した時	-120h以前	台風発生情報の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△			△
台風が北上しつつある時	-120～-72h	台風の影響等の発表と伝達	○	◎	○	○	○	○	○	○	△
台風による 影響が予想された時	-72～-48h	日本への影響の可能性等の台風情報の発表と伝達 防災施設の巡視・点検 防災資機材の点検・確認	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
台風による 影響が名古屋圏で予想された時	-48～-24h	名古屋圏への影響の可能性等の台風情報の発表と伝達 人員配置・応援体制の事前確認 河川関連施設・危険箇所の巡視・点検 防災資機材の確認・準備 道路の通行規制の事前確認 休校・休業に向けた事前準備	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
台風が名古屋圏に接近し、降雨が予想された時、 もしくは雨が降り始めた時 翌日以降に愛知県西部で真暴風雨を超える降雨が予 測(600mm/24h以上)を自安されるような状況になつた 時	-24～-6h	防災気象情報(大雨(浸水警報))の発表・伝達・収集 大雨(浸水警報)・洪水警報発表に伴う防災体制の構築・確認 地下施設周辺の状況確認 地下施設閉鎖の状況確認 地下商業施設の翌日営業中止の検討・判断(地下通路は閉鎖せず) 排水施設・危険箇所の巡視・点検 地下施設周辺の状況確認 防災気象情報(大雨(浸水警報))の発表・伝達・収集 大雨(浸水警報)・洪水警報発表に伴う防災体制の構築・確認 地下通路利用者に対する早期退避を促す館内アナウンス等の開始 防災気象情報(暴風警報)の発表・伝達・収集 暴風警報発表に伴う防災体制の構築・確認 休校判断 住民避難の受け入れに係る準備・事前確認 地下施設の止水対策の検討・実施 地下施設営業中止予告情報の伝達・収集 被害情報等の収集・伝達	○	◎	◎	○	○	○	○	○	△
暴風警報が発せられるような状況になつた時		地下施設閉鎖に向けた利用者への誘導等の開始 被害情報等の収集・伝達 アンダーパス等の道路通行規制の検討 地下施設の浸水防止対策の判断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
庄内川の水位が上昇し始めた時		地下施設閉鎖に向けた利用者への誘導等の開始 水防活動等の準備・活動 地下街等に対する情報提供(閉鎖等に関する注意喚起(事前予告))	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
庄内川の水位が氾濫注意水位を超過しそうな時		地下街等に対する情報提供(地下街等退避準備情報(仮称)) 地下施設閉鎖に向けた利用者への誘導等の開始 地下施設における状況確認・伝達 地下街等に対する情報提供(地下街等退避情報(仮称)) 地下通路利用者への退避完了確認 地下通路閉鎖の開始	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
大雨特別警報(浸水警報)が発せられるような状況になつた時		地下施設における状況確認・伝達 防災気象情報(大雨特別警報(浸水警報))の発表・伝達・収集 大雨特別警報発表に伴う体制の強化	○	◎	◎	○	○	○	○	○	△
庄内川の水位が避難判断水位を超過しそうな時	-6～0h	地下施設における安全確保措置(完全退避)の判断・開始 事後対応(復旧活動等)の準備・確認 庄内川水位上昇に伴う防災情報(氾濫警戒情報等)の発表・伝達 避難の開始(避難勧告の発令・伝達) 地下街等に対する情報提供(地下街等退避情報(仮称)) 地下通路利用者への退避完了確認 地下通路閉鎖の開始	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
避難勧告が発せられるような状況になつた時		地下街等に対する情報提供(地下街等閉鎖情報(仮称)) 地下施設における安全確保措置(閉鎖・完全退避等)の完了確認 想定される浸水域の確認 避難指示(緊急)の発令・伝達	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△
避難指示が発令されるような状況になつた時		避難指示(緊急)の発令・伝達	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎: 行動の中心になると考えられる主体、情報等の発信元と想定される主体
 ○: 行動を補助・支援するなど連携が考えられる主体、情報等を直接受信し伝達すると想定される主体
 △: 情報を間接的に受け取り、判断や行動に活用する主体

平成29年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案 (名古屋駅地区の浸水を想定)

- ◆ 本検討案は、年超過確率1/2000の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、名古屋駅周辺が約2m浸水する被災シナリオに基づき作成したものである。
- ◆ 本検討案は、検討途上であるため、主たる項目を記載したものであり、各機関が行う行動を網羅的に整理したものではない。
- ◆ 対応時間は、1つの想定台風シナリオに基づいて、名古屋最接近からの逆算したものであり、実際の台風速度、降雨パターンにより台風毎に変化する可能性がある。
- ◆ 本検討案は、現段階において地域防災計画などの既存の計画を補完するためのチェックリストとして活用するものであり、各機関の行動・タイムングを規定したものである。
- ◆ 本検討案は、降雨による水位上昇、堤防決壊を想定した時系列にて防災行動を整理したものであり、暴風により行動のタイムングは変化することがある。

何時(いつ)		機関・組織・団体 (それぞれ)							
現象	目安となる 対応時間	防災行動項目	◎: 行動の中心になると考えられる主体、情報等の発信元と想定される主体 ○: 行動を補助・支援するなど連携が考えられる主体、情報等を直接受信し伝達すると想定される主体 △: 情報を間接的に受け取り、判断や行動に活用する主体						
			庄内川河川事務所	名古屋地方气象台	名古屋市	愛知県	地下施設を 有する企業	住民・利用者	
庄内川で破壊、氾濫が発生 (台風名古屋最接近)		0h	庄内川水位上昇に伴う防災情報(氾濫発生情報等)の発表・伝達	◎	◎	○	○	○	
被害状況の確認			◎	○	◎	◎			
広域支援・連携の要請			◎		◎	◎			
道路通行止め措置					◎	◎			
応急・復旧対策の検討			◎		◎	○	◎		
被災状況の確認			◎	○	◎	◎			
応急・復旧対策の実施			◎		◎	○	◎		
救出救助活動の実施					◎	◎			
浸水域の排水対策の実施			◎		◎				
地下施設の復旧対策の実施						◎			
道路交通対策の実施						◎			
地域の治安維持活動の実施						◎			
被災施設等の復旧対策の実施			◎		◎		◎		
被災者等の支援			◎		◎	◎			
AAR(ブリーフィング・デブリーフィング)の実施			◎	◎	◎	◎	◎		
破壊、氾濫による浸水域の拡大			応急・復旧対策の検討	◎		◎	○	◎	
名古屋駅周辺に氾濫水が到達する時			被災状況の確認	◎		◎	◎		
浸水が拡大しつつある時		0h~	応急・復旧対策の実施	◎		◎	○	◎	
			救出救助活動の実施			◎	◎		
			浸水域の排水対策の実施	◎		◎			
			地下施設の復旧対策の実施				◎		
浸水状況の解消			地域の治安維持活動の実施				◎		
			被災施設等の復旧対策の実施	◎		◎		◎	
			被災者等の支援	◎		◎	◎		
			AAR(ブリーフィング・デブリーフィング)の実施	◎	◎	◎	◎	◎	

庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会における今後の課題と対応策

- 本検討会及び地下空間ワーキンググループにおいては、第9回地下空間WGから報告された課題について、以下の対応方針とする。

<対応方針>

①内部向けの課題

「地下街等管理者の各組織内において、平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))を認識共有することが必要である。」

<方針①>

各地下街関係者を対象とする説明会等を開催する。

②外部向けの課題

「来街者(外国人を含む)やマスコミへの水害リスク及びそれらに対応する防災行動の周知や啓発が必要である。」

<方針②>

今後、様々な機会を捉えて、積極的な広報及び啓発活動を展開する。

③関係機関との連携に関する課題

「今後のより効果的かつ効率的な運用にあたり、交通機関・接続ビルやマスコミ等との連携が必要である。」

<方針③>

地下空間WGの構成員を拡充していくとともに、地下街等に接続するビルや交通機関等との連携方法について検討していく。

④PDCAに関する課題

「今後の継続的かつ確実な運用にあたり、訓練等を通じたPDCAサイクルの取組が必要である。」

<方針④>

次年度の台風時期より試行していくことを通じて運用上の課題を抽出し、平成29年度地下空間タイムライン(共通行動版(案))のブラッシュアップを図っていくとともに、必要に応じて庄内川決壊対応タイムライン検討案の見直しを行う。